



関東地方労組生産性会議 議長

熊谷 克夫

関東地方労組生産性会議(略称「関東労生」)は、1959年の結成以来、業種や組織の枠を超え企業別労働組合を中心とした労働組合の立場から生産性運動を展開しています。

関東労生では、生産性の向上を企業の収益

向上の手段という側面だけでなくとらえるのではなく、「人間性の尊重」の精神に基づくものであることを確認してきました。時代はますます「変化のとき」でありますので、人間性尊重、そして労働の尊

変革の時代における 創造的労働組合運動の推進

「定例研究会・新春のつどい」(1月)を開催しています。それぞれの会では、記念講演を併催し、学識者など

学館、JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)を行うとともに、安全衛生等について労使双方の取り組みを伺っています。

と課題、労使協議、職場コミュニケーション、労働法、安全衛生法等、労組役員に必須のテーマを学んでいたことを目的に講義を行っています。また、数年に一度、「海外視察」を行い、現地企業等の訪問を通じてその国の労働事情について学ぶこととしていま

厳を基調とした「労働組合による生産性運動」の意義を再認識した上で、変革の時代における創造的労働組合活動の展開を目指し、諸活動を推進していただきます。

の講師による時宜をとらえたテーマでの講演を行っています。その他、諸活動についても積極的に推進していただきます。

年度「セブン&アイグループ労働組合連合会、味の素労働組合」を学ぶとともに、当該テーマに関する会員間での情報交換も行っています。

こうした様々な取り組みを通じ、産業や業種の垣根を越えて多くの労働組合が参画する関東労生の特性を活かし、労組活動の質的強化や労組役員のネットワーク強化に向け、引き続き取り組んでいく所存です。

具体的活動内容について紹介したいと思

研究活動として、「国内研究会」では会員組織の工場等施設見学(昨年度「東芝未来科

「労使関係実務基礎講座」では新任労組役員向けに、労組の現状